

令和2年度第2回新上五島町行財政改革推進委員会議事録

日時 令和2年11月9日(月) 13:25~14:47

場所 新上五島町役場 3階F会議室

出席者

○行財政改革推進委員会委員

出口会長、荒木会長代理、大坪委員、小川委員、近藤委員、柴田委員、竹山委員、田崎委員、千葉委員、道津委員、永田一志委員、永田孝子委員

○新上五島町

浦田副町長、岡山政策企画担当理事、堀江総務課長ほか関係課長

次 第

1 副町長挨拶

2 議事

(1) 新上五島町行財政改革推進プランについて

(2) 答申について

(3) 来年度以降の行財政改革推進委員会について

開 会

【事務局】

ただ今から令和2年度第2回新上五島町行財政改革推進委員会を開催いたします。私は事務局を務めます総務課長の堀江でございます。よろしく申し上げます。本日は、森下委員が都合により欠席されております。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。本日の資料は、次第、委員名簿、配席表、新上五島町行財政改革推進プラン案、本委員会の答申となっております。不足している資料があればお知らせ下さい。

それでは、開会にあたり副町長がご挨拶いたします。

(副町長挨拶)

ここからの進行は議長として、出口会長にお願いいたします。

【会長】

それでは、議事に入ります。前回の委員会で、新上五島町行財政改革推進プラン案について審議し、委員の皆様からご意見等をいただきました。修正箇所等について、事務局から説明をお願いします。なお、質疑は説明後に行いたいと思います。

【事務局】

修正箇所説明

【会長】

ただいまの説明について、質問、意見などはありませんか。

【委員】

NO.32の「業務効率化による時間外勤務の削減」の基準値は、令和元年度の時間外勤務手当の支給額で消防と選挙を除いた数値となっている。第3次行財政改革実施計画書（令和元年度進捗状況）の実績値（選挙、消防、災害を含んだ数値）に近い数値だが間違いないか。

令和元年度の数値を基準値としているが、この年度が例年より高い数値であれば、基準値の取り方を検討した方がいいのではないか。

【事務局】

資料の数値は精査する。基準値は直近の令和元年度の数値としたいが検討する。

【委員】

資料1ページの「町政を取り巻く環境」で、20歳から39歳の女性の減少率が九州でワースト1位となっているが、改善策は盛り込まれているか。

【事務局】

このプランは、第2次総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標の実現を図るための、組織運営と財政運営の基盤づくりを目指す計画である。委員ご指摘の女性の減少率を抑制するための対策については、総合計画や総合戦略に掲げた施策の中で取り組んでいく。

【委員】

町内には若い方でいろんなアイデアを持っている方がいるので、プロジェクトチームを作って、そういう方の意見を取り入れてはどうか。

【事務局】

まち・ひと・しごと創生総合戦略を検証する会議を年に1回開催しており、若手の委員の方のご意見もお聞きしている。また、プロジェクトチームについては、石田町長から就任時に、地域住民の方々と役場の職員が意見交換する機会を作りたいというお話もあり、すでに一部の地域ではチームを作り動きだしている。今後もこのような場を設けながら、若い方々の意見を取り入れて施策に反映していければと考えている。

【委員】

現在、町と民間で取り組んでいる微細藻類生産施設整備事業の状況は。パート職員を募集していたが申込状況と採用状況は。採用に当たってはできるだけ若い方の雇用をお願いしたい。

【事務局】

株式会社ブルーサイエンティフィック新上五島にコンサルタント業務を委託して事業を進めている。雇用については、社員2名、パート職員2名で12月から新たにパート職員2名を雇用する。パート職員の申込状況はわからない。令和8年度までに全体で36名の雇用を目指している。

生産体制が整い運営会社を決定してから、若い方の採用について、町からもお願いしていく。

【委員】

1 ページの2040年と2060年の目標人口はどのように算出しているか。

【事務局】

第2次総合計画における2025年の目標値17,002人を基準に、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が公表した推計値と施策による効果を勘案して算出している。

【委員】

NO.25の「広域連携による行政サービスの提供」で、専門職員の柔軟な活用について研究・検討し実施するとある。建設業界では若手の雇用が難しい状況だが、役場の建設課も40歳以下の専門職員がいない、水産課もないようだ。地域おこし協力隊の方に専門的なところで活躍してもらい上五島に残ってもらってはどうか。行政も民間も専門職員を育成していかなければならない。

【事務局】

地域おこし協力隊は最近では11月1日に集落支援員として27歳の女性を採用し、その他、文化財課に1名、農林課に2名、水産課に1名、計5名を採用している。

広域連携による行政サービスの提供については、佐世保市を中心市として12市町で西九州させば広域都市圏を形成し、連携しながら取り組みを進めている。

【委員】

中五島高校では、「島内で働くことを考える会」を実施している。地元事業者の方が発表して島内で働くことの意義などを学んでおり、島内で就職する生徒が増えている。このような取り組みが人口減少対策や若手職員の育成につながるのではないか。

【事務局】

中五島高校と上五島高校で実施しているパブリックワークを今後も続けていき、島内就職者が増えるよう、ふるさと教育に取り組む。

【委員】

パブリックコメントの実施件数2件は令和元年度の数値か。意見を町政に反映したものはあるか。

【事務局】

パブリックコメントの実施件数は令和元年度2件としているが4件に修正をお願いする。

パブリックコメントは各課が個別計画を策定する過程で、審議会等で意見をお聞きして素案を作成・公表し、ホームページ等で町民の意見を幅広く求める行政手法であり、そこで提出された意見を計画に反映するものである。現状では、パブリックコメントによる意見の提出は少ない。

【委員】

中五島高校がパブリックワークで毎年いいアイデアを出している。民間が意見を出すのはなかなか難しい。コメントを待つのではなく、やる気のある地域や団体、若者の意見を吸い上げて施策を作り上げてはどうか。

【事務局】

若者の意見を吸い上げる機会が現状では少ないかもしれない。総合計画でも若者の意見を吸い上げる機会を設けるといようなことを盛り込んでいるので、そういう機会を増やしたい。

【委員】

NO.22の「人材育成基本方針の推進」で、若手職員によるパブリックワークの実施とあるが、対象者は何歳くらいの方か。パブリックワークの内容は行政サービスか町政全般か。実施に当たっては、地域で活躍されている若手事業者も含めれば意見交換もできるのではないか。

【事務局】

若手職員によるパブリックワークは今年度、試行的に実施しており、採用1年目と2年目の職員を対象としている。町政全般を対象に課題を見つけ、解決方策を1年間研究して、最終的には町長をはじめ各課長に発表してもらおう予定である。

ご指摘の事業者の皆さんとの意見交換について、グループワークの実施に当たっては、役場職員だけで課題や解決方策考えるのではなく、民間の方々の意見をお聞きしながら考えるようお願いしている。

【委員】

議会のあり方について、他の自治体ではユーチューブで議会を中継しているところがあるが、このような取組みは考えていないか。若者が町政に触れる機会が少ないので、ぜひ実現してもらいたい。

【事務局】

議会中継については議員からの意見もあり、協議している。今年度、先進地を視察する予定だったが新型コロナの影響で視察できず中断している。コロナが落ち着けば議論が進んでいくと思う。

【委員】

NO.21の「新たな収入確保策の検討」では頭ヶ島の集落だけあるが、山王山という日本遺産もあるが含まないのか。また、雇用拡充の面で、このプランでは有人国境離島法は触れないのか。

【事務局】

頭ヶ島の集落への観光をパーク&ライド方式で実施しており、年間約5千万円という多額の一般財源を要していることから改善策を検討するために盛り込んでいる。日本遺産については、昨年度、個人版ふるさと納税で寄付を募り活用させていただいている。

このプランの位置づけは、第2次総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を下支えするものであり、有人国境離島法については、第2次総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で触れており、人口減少対策に取り組むこととしている。

【委員】

世界文化遺産の関連だが、旅行会社の添乗員から世界遺産の効果は3年くらいだが、頭ヶ島

には魅力があり、長崎市の軍艦島と組み合わせれば効果は続くと聞いた。

【事務局】

世界文化遺産登録後の1年間で4万人ほどの観光客が訪れている。その後の1年間は同等か少し落ちており、今年度は新型コロナの影響で落ち込んだが、GoToキャンペーンの影響でここ1か月から今年度末までは貸切バスは満席と聞いている。上五島の教会の魅力はあり旅行商品はこれからも造成されると思う。あとは地域間連携が必要。現在、五島産業汽船が平戸市と本町をチャーター船でつなぐプランを出しており、地域間連携ができれば進めていきたい。

パーク&ライドは世界文化遺産に登録された際に、多くの観光客が訪れるだろうということから始めたが、以前と比べると落ち着いてきたため、費用をなるべく抑えるためにプランに盛り込んだ。来年度からは直接車両が乗り入れられるシステムに変更したいと考えており、世界文化遺産を保全するため、受益者に負担を求めることを検討するものである。

【会長】

他にございませんか。

(意見なし)

今後、パブリックコメントや議会全員協議会でのご意見等で修正があった場合の字句の修正等については、会長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会長】

次に、新上五島町行財政改革推進プラン案について、町長からの諮問に対する本委員会の答申について審議いたします。答申の内容については、資料のとおりですが、ご意見などはございませんか。

【会長】

ご意見等ないようですので、資料のとおり町長へ答申することといたします。

【会長】

次に、来年度以降の行財政改革推進委員会について協議いたします。委員の皆様は、令和3年10月24日までとなっております。新行財政改革推進プランの進捗管理について、本委員会で行うことになっておりますが、令和3年度以降も引き続き、皆様に審議をお願いしてもよろしいでしょうか。

【委員】

行財政改革推進プランの進捗管理は、今のメンバーで行うのか、新しいメンバーで行うのか。

【事務局】

次の任期につきましても、できましたら皆様に継続してお願いしたいと考えております。

【会長】

この件については、今日ではなく、来年度の委員会で協議してもいいか。次の任期の委員について、町長の意向は確認しているか。

【事務局】

町長の意向は確認していない。事務局としては、皆様に継続して就任いただければと考えているが、若手の委員を入れてはというような意見もありましたので、来年度の委員会の際にご審議いただいて結構です。

【会長】

若手の方を委員会に入れてはという意見もありましたのでよろしくお願いします。それでは、行財政改革推進プランの進捗管理は、この委員会で行うこととし、次の任期の委員については、来年度の委員会で協議することによろしいか。

(異議なし)

【委員】

公募の枠は、新しい委員に充ててもらっていい。

【委員】

公募委員からは貴重なご意見をいただいているので、今の委員に加えて、若手の男性女性1名ずつ入れていいと思う。

【会長】

事務局で検討をお願いします。

【会長】

本日の議事はこれで終了しました。その他で皆様から何かございませんか。

【委員】

小学校の統廃合の件だが、旧小学校に統合するより、新しい学校を作らないと集まらないのではないか。また、五島市では遊休施設の高校の学生寮を活用して日本語学校を開設している。旧校舎の活用についても検討が必要ではないか。

【事務局】

小中学校の統廃合は適正化計画を5年ごとに作成しており、次期の計画は今年度から来年度に作成する。新しい学校を作る件については、計画を作成する際に議論したい。

【委員】

20代から30代の人口を増やさないといけない。上五島に帰ってきて子育てしたい、住みたいと思わせるよう、環境づくりや取組みが必要である。

【事務局】

人口減少対策で子育て環境の充実については現在も取り組んでいるが、皆様のお知恵を借りながら進めていきたい。

【委員】

広報誌について、結婚した方の名前がこれまで新郎・新婦名だったのが、男名前・女名前に変わった。新郎・新婦と言われるのは結婚した時だけなので元に戻した方が嬉しいのでは。

また、人口は数字で書くなれば縦書きより横書きの方が見やすいと思う。

【事務局】

今年度、少しずつデザインを変えてきた。ご指摘の件は検討する。

【委員】

時間外勤務は、前回の会議でも触れたがスローガンだけ掲げてもなかなか削減できない。仕事の仕方時間がかかっているのか、時間外命令以外の業務で残っているのかを把握しないと解決しない。

【事務局】

職員数が減れば業務量が増え、時間外勤務が増えてくる。事務改善、事務の効率化を行わないと減らない。職員の状況をしっかり把握して不要な残業がないよう努める。

【会長】

他にございませんか。ないようでございますので、以上をもちまして令和2年度第2回行財政改革推進委員会を閉会いたします。長時間のご審議お疲れ様でした。